



学校だより

12月号



平成27年11月30日発行
 さいたま市立本太小学校
 Tel 048-882-3007
<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>
 e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

山茶花の季節に ～これからの時代を生きる子どもたち～

校長 井出 了一



正門前の山茶花が、濃いピンク色の美しい花を咲かせ、毎朝子ども達を迎えています。早いもので、今年も最後の月を迎えました。4月に着任して以来、児童の安全な登下校や充実した学校生活に向けて、多くの方々に支えていただきました。保護者・地域の皆様にご心より感謝申し上げます。

少々固い話になりますが、今年も、文科省の中央教育審議会(中教審)から、様々な諮問や提言が出されました。教員養成課程の改革や小学校の英語教育などが話題になっていますが、教育課程の部会から、今後の大きな指針が「論点整理」という形で発表されました。ここには「2030年の社会と子供たちの未来」という書き出しで、次の学習指導要領への方向性がまとめられています。

この中で「学び全体の改善が必要だ」と指摘したうえで、「未来予測が困難なこれからの時代に必要な資質・能力」について、次の3本柱にまとめて整理しています。

・何を知っているか、何ができるか (個別の知識・技能)

各教科などに関する基礎的・基本的な知識・技能など

・知っていること、できることをどう使うか (思考力・判断力・表現力 等)

問題を発見して解決方法を探し、プロセスを振り返って次の問題発見・解決につなげていくことや、他者と協力しながら問題を解決していくために必要な思考力・判断力・表現力など

・どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか (人間性や学びに向かう力 等)

主体的に学習に向かう力や、自己の感情や行動を統制する能力、多様性を尊重する態度と互いの良さを生かして協働する力など

中教審ではさらに議論を積み重ね、来年度中に答申が出ると思います。これからの学校の在り方に深く関わることで、動向に注目していきたいと思っています。

さて、12月は年末のあわただしい時ですが、2学期のまとめの時期となります。学校では、児童の成長をよく見取り、評価し、より良くなるための具体的なアドバイスを行います。御家庭でも、通知表をはじめさまざまな評価物や、家でのお子さんの様子から、「できるようになったこと」「頑張ったこと」をぜひ言葉にして褒め、そうでなかったことは、今後どう取り組むかを、お子さんと一緒に考え、話し合っていたいただければと思います。その積み重ねが、子ども達の一層の成長につながることでしょ。

この一年間、たいへんお世話になりました。よいお年をお迎えください。

○ 一人一鉢運動 (秋から冬、そして来春に向けて)



パンジーの色とりどりの苗が、学年ごとに並びました。この苗が厳しい寒さを超えた先には、卒業・入学シーズンが控えています。一人ひとりが水やりや花がら摘みを欠かさず行い、愛情をこめて育ててくれることでしょ。

このような取組を通して、命あるものへの接し方を学び、体験から生命の大切さを身に付けてほしいですね。